

東羽島支店新築 岐阜信金が寄付

ボランティア
協会に15万円

岐阜信用金庫は8日、「東羽島支店新築移転オープン記念寄付型定期預金」で集めた現金15万円を、岐阜羽島ボランティア協会に贈った。



川合宗次理事長(右)に目録を手渡した光崎修常務理事＝羽島市竹鼻町、岐阜羽島ボランティア協会

た。羽島市竹鼻町の同協会本部事務局で贈呈式が開か

れた。

同支店は今年4月11日に移転、新築してオープンした。オープンを記念して同月1日～5月末に寄付型定期預金を取り扱い、個人の顧客から総額15億円が集まった。0・01%に当たる15万円を、放課後デイサービスやファミリーサポートセンターなどを運営する同協会に寄付することにした。

贈呈式では、同金庫の光崎修常務理事が「上限寄付額の15万円が集まったのは、羽島市の皆さんが寄付型定期預金に賛同した証し。今後でもできる限りの支援をしたい」と話し、目録を同協会の川合宗次理事長に手渡した。川合理事長は「温かい寄付を、子どもたちの支援になるように有効に使いたい」と述べた。

(山本貴史)